**[３]在宅療養に関する支援**

 **１．看護技術チェックリスト**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 看護 | 内　　　　　　容 | 看護 | 　　　　　内　　　　　容 |
| 吸引 | □口腔の吸引ができる　□鼻腔の吸引ができる□気管の吸引ができる□吸引カテーテルの交換や保管などの管理ができる□清潔に操作できる（手洗い、物品の消毒、保管） | 経管栄養法・中心静脈栄養法 | 　　　1.　胃瘻□栄養の注入ができる□薬の注入ができる□栄養注入時の注意点を理解している（姿勢、注入速度、事前の痰吸引など）　　　2.　中心静脈栄養（CVポート）　　　□正常な滴下の状態がわかる（輸液パック、輸液ルート、刺入部の皮膚）□輸液の一時中止ができる□輸液ポンプの操作ができる＊□輸液終了後、指示薬剤等でロックすることができる＊□輸液終了後、抜針し、皮膚の消毒と保護ができる＊＊輸液を24時間持続で行うか、時間指定で行うかによって指導方法は異なる |
| 気管切開 | □気管カニューレの固定（ホルダー等）が適正に行える□気管カニューレのガーゼが交換できる□気管カニューレのカフ圧を適正に維持できる□気管カニューレの交換ができる |
| 人工呼吸器療法 | □アラームの止め方がわかる□高圧アラームの問題解決の方法がわかる□低圧アラームの問題解決の方法がわかる□呼吸器回路の水抜きができる□呼吸器回路の交換ができる□停電時の対応を理解している□バックバルブマスク(アンビューバック)を使うことができる |
| 疼痛緩和 | 　　　1.　経口投与□正確に服用することができる□レスキューの使い方が合わかる□効果と副作用を理解している　　　2.　経皮投与□正確に貼付することができる□使用済み貼付剤の処理ができる□レスキューの使い方がわかる□効果と副作用を理解している　　　3.　注射（PCA機能）□正常な注射の状態がわかる□レスキュー（PCAボタン）の使い方がわかる |

※医療処置については、異常時の対処方法を十分に説明の上、緊急時の連絡方法を確認しておきましょう。

患者・家族が必要な医療処置や手技の確認が必要なものはこれ以外にもたくさんあります。

個々の患者・家族に応じた内容を追加してご活用ください。